



令和4年12月定例会

第145号

議会だより



消防出初式 市中行進 (1月6日)

◆ 目次 ◆

- 令和4年12月定例会・臨時会 2～3
- 委員会報告(総務厚生・産業建設・タブレット端末導入) ... 4～5
- 賛否表 6
- 一般質問 6人が町政を問う 7～13
- 研修報告(滋賀県10月・11月) 14
- 地元国会議員等への要望活動・インターン生感想 15
- 町民の声・議会日誌・編集後記 16

佐々町議会HP
QRコード



可決された条例 の主なもの

12月臨時会が、12月7日の1日間、定例会が12月13日から15日までの3日間の会期で開催されました。

臨時会は、佐々クリーンセンターの基幹的設備改良工事請負契約締結の件を上程、可決しました。

定例会第1日目に、議長の諸般の報告、町長の行政報告、各委員会報告、4名の議員が一般質問を行いました。

第2日目は、2名の議員が一般質問を行い、条例制定3件、一部改正2件、条例廃止2件、新庁舎建設工事請負契約締結の件1件を上程、可決しました。

第3日目は、道路認定変更の件1件、一般会計ほか5件の補正予算、町長及び副町長の給与に関する条例の一部改正の件1件を上程し、可決して閉会しました。

議案第79号

公益法人等への職員の派遣に関する条例制定の件

議案第80号

職員の降給に関する条例制定の件

議案第81号

職員の高齢者部分休業に関する条例制定の件

人的援助を行うことが必要と認められる公益法人等（一般社団法人、一般財団法人、一般地方独立行政法人など）へ職員を派遣する制度が新設され、派遣職員の要件、期間満了後の復帰時の給与処遇に関する事項などが定められました。派遣することができず職員は60歳未満の管理監督職、定年前の非管理監督職、フルタイムの暫定再任用職員となります。また60歳を超えても特例により管理監督職に留任する職員については、派遣対象外

となることが追加して改正されました。

議案第82号

職員の定年等に関する条例等の一部改正の件

議案第86号

道路認定変更に関する条例制定の件

職員の意に反する降給として、降給の種類、降格や降号の事由などが定められました。この条例は、職員の定年の延長に伴う役職定年の導入や60歳から定年までの給料月額7割措置などに関し制定が必要となったものです。

による諸事情への対応、地域貢献活動への従事など、多様な働き方のニーズに因應するための制度が新設され、休業時間、休業取得中の給与に関する事項などが定められました。休業時間については、1週間当たりの勤務時間の2分の1の範囲内で任命権者が承認を行うものとなります。

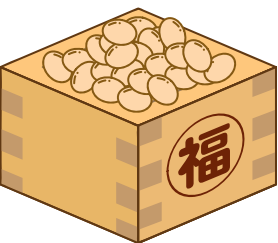
段階的に
定年を65歳に

議案第82号

職員の定年等に関する条例等の一部改正の件

議案第86号

道路認定変更に関する条例制定の件



地方公務員法の改正により、国家公務員と同様に地方公務員の定年が延長されることになり、職員の定年は、令和5年度から令和13年度において2年に1歳ずつ段階的に引き上げられて65歳になります（診療所医師については70歳）。その他、職員の役職定年の導入、定年前再任用短時間勤務職員に関する改正が行われました。

行き止まり
道路は計画的
に整備

議案第86号

道路認定変更に関する条例制定の件

町道川尻線を整備し、地域住民の利便性を図る。道路を72メートル延長する。

質問 町道認定のルールはあるのか。

建設課長 民間開発等の場合には、内規はあります。4メートルの道路を確保する形となります。

質問 行き止まり道路は多々ありますが、基準を検討しながら優先順

位を決め整備すること
を今後の見通しとして
見解はもっているのか。
町長 86箇所ほどあると
思うが、救急車、消防
自動車や緊急自動車が
通れないところがあり
ます。

調査をしながら計画
的にやっていかなかれ
ばと思っております。

議案第93号

**町長及び副町長の給与
に関する条例の一部改
正の件**

新庁舎建設について、
もう少し慎重な協議や検
討が必要ではなかったの
か反省し、事務執行に対
して管理監督責任がある
町長及び副町長の給料の
額が令和5年1月分を減
額とされました。(1か
月分)
町長は、給料月額10
分の1
副町長は、給料月額10
分の0.5

会計別の補正予算

単位：千円

会計別	補正額	補正後の額
一般会計（補正第8号）	23,332	8,274,636
国民健康保険特別会計（補正第2号）	1,201	1,458,211
介護保険特別会計（保険事業勘定）（補正第2号）	128	1,298,729
後期高齢者医療特別会計（補正第2号）	△2,359	184,663
水道事業会計（補正第2号）		
収益的収支	△837	387,145
資本的収支	△9,749	580,807
公共下水道事業会計（補正第3号）		
収益的収支	128	928,116
資本的収支	△15,100	693,592

一般会計補正予算の主な内容

単位：千円

公共交通事業者持続化支援金 ○松浦鉄道施設整備事業補助金（運行維持に必要となる経費の支援）	3,430
介護サービス施設等支援支援金（電気代、ガソリン代高騰分の一部を支援） ○高齢者施設に対して県の実施事業の補足分として、残りの1/2を支援 ○入所・通所系施設 令和3年度の電気代の上昇分の1/2を支援 11事業所 ○訪問・相談系施設 車1台あたりガソリン代46,000円の1/2を支援 6事業所	3,716
障がい福祉サービス施設等支援支援金（電気代、ガソリン代高騰分の一部を支援） ○障がい者施設に対して県の実施事業の補足分として、残りの1/2を支援 ○入所・通所系施設 令和3年度の電気代の上昇分の1/2を支援 27事業所 ○訪問・相談系施設 車1台あたりガソリン代46,000円の1/2を支援 6事業所	3,690
町内私立保育園等支援交付金（電気代高騰分の一部を支援） ○町内私立保育園に対し、令和3年度の電気代の上昇分を支援 町内3園	1,497
医療機関等支援交付金（電気代高騰分の一部を支援） ○県の実施事業（補助率1/2）の補足分として、残りの1/2を支援 ○病院・有床診療所（5床以上） 病床数×30,000円の1/2を支援 4施設 ○有床診療所（4床以下・医科診療所・歯科・薬局・施術所 令和3年度の電気代の上昇分の1/2を支援 53施設	6,365
生活応援商品券事業 ○住民一人当たり3,000円の商品券を配布 ○3,000円×14,200セット分の商品券事業補助	48,702
新型コロナウイルス感染症対策事業 ○医療機関や介護施設、障がい者施設等の職員を対象に検査キットを配布 ○従業員1人当たり5回分	6,285

常任委員会報告

総務委員会

11月25日(金)

【所管事務調査】

1. 条例等について

①職員の定年等に関する条例等の一部改正について

― 定例会報告参照―
②職員との給与に関する条例等の一部改正について

○8月の人事院勧告・10月の県人事委員会勧告を踏まえた改定を行うもの。

大卒程度初任給3,000円・高卒初任給4,000円をはじめ、若年層を中心とした引上げ改定が主な内容。

【その他報告】

1. 防火水槽用地(木場地区)の取得について

○農地の一部にある防火水槽用地について、所有者から寄附の申し出があり、分筆費用について補正予算計上を行う。

2. 佐々クリーンセンター

― 基幹的設備改良工事事業者選定に係る進捗状況について
― 12月臨時会にて報告・可決済み―

3. 佐々町し尿等前処理施設建設工事業業者選定に係る進捗状況について

4. 医療機関、介護施設、障がい者施設への新型コロナウイルス検査キット配布事業について

○標記施設等へ検査キットを配付し、感染症支

援体制の強化を図る。職員1人につき5回分、合計950人分を計上する。

5. 原油価格・物価高騰

緊急支援事業について
○以下の支援を行う

産業建設文教委員会

11月14日(月)

【所管事務調査】

1. まちづくりについて

① 町道認定変更について(町道川尻線)

平成27年に神田町内会から川尻線延伸の要望があり、現状は道路の幅員も狭く行き止まりになっている。延伸約70mを整備延長することによって、町道神田線に接続することができる。また、土地については無償で寄付される。

※この案件は、12月定例会で提案があるとのこと

① 松浦鉄道持続化支援金
② 生活応援商品券事業
③ 介護サービス施設・障害福祉サービス施設、医療機関、私立保育園等。

4. 上下水道事業について

① 継続費の進捗状況及び事業の繰越について

② 継続費の進捗状況について、令和元年度から令和4年度までの4か年で37工事、総額約10億8千900万円を計画しており、計画額ベースで94・39%の進捗であるとの説明。

③ ため池劣化状況評価業務について

④ 佐々駅舎テナント募集について

⑤ 地域おこし協力隊に関する事後検証結果について

⑥ 生活応援商品券の販売状況及び再販売の予定について

⑦ 羽ばたけ若者人材育成奨学金の拡充について

⑧ 部活動の地域移行について

⑨ 教育委員会の行事予定について

【その他報告】

① 旧農業集落排水施設機器撤去工事について

② 町道防護柵点検結果について

11月21日(月)

【所管事務調査】

1. 条例等について

① 佐々町営農飲雑用水施設条例を廃止する条例について

② 職員の定年等に関する条例等の一部改正について
― 定例会報告参照― 略

【その他報告】

1. ため池劣化状況評価業務について

2. 地方創生臨時交付金事業について

企画商工課長から、国の予備費での措置により、新型コロナウイルス感染症対応、地方創生臨時交付金、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金が措置されることになったとの説明を受けた。

6項目の事業について各課から報告。

① 介護サービス施設等原油価格・物価高騰緊急支援交付金

② 私立保育園等原油価格・物価高騰緊急支援交付金

③ 障害福祉サービス施設等原油価格・物価高騰緊急支援交付金

④ 医療機関等原油価格・物価高騰緊急支援交付金

⑤ 松浦鉄道持続化支援金

⑥ 生活応援商品券事業



タブレット端末導入

調査特別委員会

10月19日(水)

11月10日(木)

【所管事務調査】

1. 今後の進め方について

タブレット端末導入の目的について

① 議会運営の効率化・迅速化

② 議会の活性化・議員の資質向上

③ 危機管理体制の強化を目的とすることを確認した。

○本町でのタブレット導入前に、すでに先駆けてタブレットを使用している先進自治体に視察研修に行くこと決定し、研修先は今年2月に導入されたばかりの波佐見町と平成30年に導入し、新機種を令和5年度に再度購入予定の佐世保市の2か所とした。

【先進地視察研修】

波佐見町議会

1. 研修内容

タブレット端末の運用状況について

○導入の目的、費用等、総合的に判断し、タブレット端末となった。

○導入前は1年間は紙媒体と併用予定だったが、委員会等で操作を重ね、紙資料を廃止し、6月定例会から完全データ化。

○資料作成に携わる職員の仕事負担の軽減。
○招集通知にかかる事務量の削減
(メール機能を活用)

11月15日(火)

【先進地視察研修】

佐世保市議会

1. 研修内容

タブレット端末の運用状況について

○緊急時の連絡を想定し、操作の容易性からタブレットにした。

○予算書、決算書は紙資料と併用している。予算書、決算書以外については各会派で印刷している。

各会派にプリンターを支給。

○タブレット導入時まで、ファックスを議員各自に貸与していたが、廃止しタブレットのメール機能を活用し、情報伝達の迅速化ができた。ファックスにかかる時間が令和3年度で1450時間の削減となった。

12月5日(月)

【所管事務調査】

1. タブレット端末導入に関する調査について

① 先進地視察終えて意見交換

② タブレット端末導入に係る機種等の検討を行った。

議員数、人口規模等を総合的に判断し、波佐見町を主に検討していく。タブレット導入が、議会活動の効率化、利便性に寄与しており、庁舎全体で見ても費用対効果があり、導入メリットが大きい。ひいては、住民の利便性向上につながるという点で早急に導入することを結論づけた。

令和4年12月臨時会・12月定例会 賛否表

○は賛成 ×は反対 -は退席(棄権)

議案番号	議案件名	平田康範	川副剛	横田博茂	永田勝美	長谷川忠	阿部豊	永安文男	橋本義雄	須藤敏規	淡田邦夫	評決数	結果
77	工事請負契約締結の件 (令和4年度 佐々クリーンセンター基幹的設備改良工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
78	職員の給与に関する条例等の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
79	公益的法人等への職員の派遣に関する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
80	職員の降給に関する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
81	職員の高齢者部分休業に関する条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
82	職員の定年等に関する条例等の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
83	佐々町職員の再任用に関する条例廃止の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	淡田議長は採決に 加わりません	9対0	原案可決
84	佐々町営農飲雑用水施設条例廃止の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
85	工事請負契約締結の件 (令和4年度佐々町新庁舎建設工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
86	道路認定変更に関する件(町道川尻線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
87	令和4年度 佐々町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
88	令和4年度 佐々町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
89	令和4年度 佐々町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
90	令和4年度 佐々町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
91	令和4年度 佐々町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
92	令和4年度 佐々町公共下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決
93	町長及び副町長の給与に関する条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	原案可決

※議案77号は12月臨時会、78号以降は12月定例会議案です。



阿部 豊 議員(一問一答) …………… 8

- ① 子ども子育て支援について
- ② 会計年度任用職員等の処遇改善、雇用安定について

永安文男 議員(一問一答) …………… 11

- ① 機構改革による組織体制見直し後の業務推進
- ② 地域猫の取り組み対策について
- ③ 交通安全対策について

平田康範 議員(一問一答) …………… 9

- ① 町所有の遊休地活用について
- ② まちづくり応援事業について

橋本義雄 議員(一問一答) …………… 12

- ① 地域づくりについて
- ② 観光資源の開発について
- ③ 佐々川から農業用水を引き込む井堰について
- ④ 桜について

永田勝美 議員(一問一答) …………… 10

- ① 町政の基本姿勢について
- ② 子育て支援について
- ③ 町内交通の充実に向けて
- ④ 新型コロナ対策について
- ⑤ くらし・福祉の充実に向けて

川副 剛 議員(一問一答) …………… 13

- ① 給食全般について
- ② 本町の交通事故多発地点の対策について



令和5年消防出初式 文化会館前(1月6日)

◎一般質問の記事について

質問した議員が執筆したものです。

◎一般質問方法

【一括質問一括答弁】 議員が質問項目すべてを一括して質問。その後町側がその質問項目について一括して答弁を行います。

【一問一答方式】 文字どおり一つの質問項目ごとに町側から答弁を行います。

1 公立保育所を存続した現状が、本町のバランス的に持続可能な子育て支援にはベストと考えるが如何に（再質問）



阿部 豊

子ども子育て会議からの答申は理解している。国の施策を見据え、最終的な判断は令和5年度中に結論を出す方向性を持って取り組む。

令和3年7月一般質問した民間と公立が協働している町立保育所について、現状バランス及び行政の責任であるセーフティネットは公立で堅持すべきと考え、また令和4年7月28日、「佐々町子ども子育て会議」から町立保育所の今後の在り方について答申がなされており、今後の方向性を確認するため再質問をしました。

■ 質問

子ども・子育て会議、15名の委員の方々が、様々な課題や財政分析を踏まえ答申されている。

専門家の意見を聞いて政策判断をしたいという趣旨で諮問がなされ、答申が出ている。政策決定をいつまでになされるのか。

■ 町長

令和5年4月、国において「こども家庭庁」が発足すると伺っている。中身を踏まえ検討し、令和5年度中には結論を出させて頂ければと考えている。

《参考》

町立保育所の今後の在り方について（答申概要）

○町立第2保育所の役割及び方向性について

- ・ 保幼小中連携はじめ、地域全体の保育の質の向上を目指し、将来を担う佐々町の子ども達の教育保育事業を実施するため、町内の私立園と行政、関係機関が連携する中核的機能を持つ存在として、公立保育所を存続することが妥当であると考えます。
- ・ 公立保育所の役割として、医療的ケア児や障がい児の受入れなど、セーフティネットの役割を果たすよう努めることをお願いします。
- ・ 佐々町の子ども達が、佐々町の自然や歴史、文化に触れる経験を通して「ふるさと（佐々町）を知ること」、「ふるさと（佐々町）が大好き」という気持ちを育てる取組を公立保育所が核となり、私立園と共通認識のもと取組んで頂くようお願いします。
- ・ 佐々町は高齢者分野で住民同士が支えあう地域包括的な取組を実現していることから、児童分野においても同様に、地域の子どもの地域で育てる事業展開を公立保育所が担うべく大きな役割として、その実現へ向けて取組まれることを期待します。

令和4年7月28日

佐々町子ども・子育て会議

会長 吉居 秀樹

会計年度任用職員の処遇改善、特に病気休暇の無休制度は、改善すべきでは
他の自治体の動向、組合とも協議しながら今後十分に検討しなければならぬ。
2020年4月スタートし、法改正により一定程度改善したが、依然として常勤職員との均等、均衡、いわゆる同一労働同一賃金の観点からは程遠い状況は変わらないと感じられる。今回、特に休暇制度について確認した。

■ 質問

一般職と同等となっていない病休、共に働く方々の勤務条件が著しく差がある状況は改善すべきではないか。

■ 町長

国の非常勤職員、他自治体の動向を見据え、組合とも協議をしながらやっていきたいと考えている。



平田 康 範

町の活性化のため、活用方針を示すべきでは

民有地の買収を進め、十分に検討していく

企業誘致のため工業団地造成を目的として購入されている一団の土地は、平成25年に購入されているが、今日まで長きにわたり事業が進んでいないことから、今後の利活用方針を質した。

■ 質 問

企業団地開発予定地域に隣接している民有地の買収を進めていたが、すべての地権者と買収契約は完了したのか。

■ 町 長

地権者5名の買収が完了していますが、7名の地権者については、買収契約はできていません。

今後、町内在住の地権者の方から買収を進め、その後町外在住の地権者の買収に取り組めます。

■ 質 問

一般質問で以前に企業誘致を見直し、プロポーザル方式による民間企業の創意工夫で宅地造成についての考えを質した。

回答は、人口増により教育環境整備など社会資本整備が必要となることから工業団地造成を進めると回答された。

今後、西九州自動車道が全面開通した折には、佐々町以外も佐世保市のベッドタウンになることから、人口減少も懸念されるが、人口推移をどのように捉えているか。

■ 町 長

佐世保市に近い立地条件を

活かしていかなければと考えられており、人口は急速に減少しないのではと、考えています。

人口増加対策として、住宅環境整備も考えていますが、企業誘致の団地造成を進めなければと考えています。

■ 質 問

職員のマンパワー不足で専任職員も配置されていない。

また、トップセールスによる企業誘致活動もなされていない。

さらには、新庁舎建設をはじめ、4大事業を進めている中で多額の造成費をどこから捻出するのか。

企業誘致は不可能と考えるが、団地の利活用について真剣に考える時期と思うが、町長の本気度を伺う。

プロポーザル方式とは

業務の委託先や設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案者を選定する

■ 町 長

トップセールスに取り組んでないことに対しては、大変申し訳ないと思っています。

4大事業を進めていかなければということでも苦慮しています。

まずは、民有地の用地買収を早く進め、工業団地造成に取り組むのか十分に検討していかなければと思っています。

■ 質 問

佐々町町有地利活用基本方針で、将来的に町の利活用計画がなく、保有する必要がない町有地は民間等への売却、あるいは民間等への貸付により有効に活用すると明記されている。

町有地利活用方針に基づき民間に託した土地の有効活用を検討すべきではないのか。

■ 企画商工課長

この土地は供用予定のない土地に該当しないと考えています。

今後、民間企業の力を借りたほうが有効活用できる場合や、財政状況等を勘案し造成することが厳しいと判断した場合は、改めて議会へ相談させていただきます。

ふるさと納税事業の 取り組み状況は

連携体制の強化に努め 情報発信の改善を図る

ふるさと納税に係る情報発信など取り組みの改善が必要との考えで取り組み方針を質した。

■ 質 問

ふるさと納税額の増大を図るためには、ネットによる情報発信の充実と、返礼品のアイテム等の充実を図る必要がある。

そのためには、担当部署の企画商工課のほか関連する部署、商工団体、観光協会などとの連携体制が必要と考えるが見解を伺う。

■ 町 長

農産物は返礼品として人気があり、農林水産課との連携は不可欠と思っています。

また、他の部署も返礼品となり得るサービスなどがある可能性もあり、各部署、関連団体との連携強化に努めます。情報発信の改善も図っていかねければと思っています。

こどもたちの国保税軽減を

今のところはきびしい

国保世帯の子ども達には、1人あたり28,000円もの均等割が課税されており、重い負担となっています。当面、未就学児童分を無償化するための町負担、105万円が出来ないのかと質しました。



永田勝美

■質問

全国の声に押されて未就学児分は公費で半額助成するとされたが、14,000円は負担が残っており、小学校入額と同時に28,000円の負担が増えることになる。こんな不公平の是正を「国がやるまで待ってください」というのか。

■町長

国保は特殊な財政であり、町民の3分の1しか加入しておらず、一般財政から補えないので、国保財政から補填をやらなくてはならない。国保の単年度収支が赤字であり、今のところはきびしい。

学校給食の無償化は いまこそ必要

全額無償化は財政的 にはきびしい

いま全国で、給食費無償化のうごきが強まっています。県下でいち早く支援を行ってきた佐々町はいまこそ、無償化を実現すべきではないかと質問しました。

■質問

学校給食費の問題について。この間、川棚町で来年の1月から給食費の無償化との報道があった。佐々町でも、ぜひ実現すべきではないか。

憲法26条で、義務教育は無償とすると定めています。学校給食法第2条には、学校給食は食育であるとしている。すなわち、給食は義務教育であり、無償化することが当然ということではないか。

■町長

答弁の繰り返しになりますけれども、現在、給食費の負担軽減額というのが1,900万円程度になっており、全額無料にした場合は、一般財源の支出額が4,000万円程度の追加予算が必要であり、総額5,900万円程度の財源が必要になるのではと考えられます。

学校給食の全額無償化というのは、なかなか財政的には厳しいと言わざるを得ないという考えを持っています。

■質問

今こそ学校給食無償化、踏み出すべきではないか。これまで、佐々町は学校給食の支援では、長崎県のトップランナーを走ってきた。

しかし、消費税の値上げや、コロナ禍、物価上昇のもとで、賃金は上がっていない。若年世帯の労働者の世帯は、今が一番きついときであること踏まえ、1人目5割、2人目10割など支援の拡大をぜひ求めたい。

町立保育所に常勤職員 の採用を行うべき

7月に町の審議会から町立保育所の存続・拡充を内容とする意見書が出されました。

正職員が若手にいない現状は急いであらためるべきと質問しました。

■質問（意見）

いま、佐々町の保育所は、常勤の保育士さんは全て40歳

以上であり、若い職員は非正規の方々です。今後、公立保育所の質を担保していく上では、やっぱり、母親世代と近い世代も含めて、幅広い年齢構成の保育士が必要だ。また、医療ケア児がずっと毎年のように、入園されており、対応されているのは、非常勤の看護師だ。今後、きちんとろんな研修にも行って、勉強もしながら対応していくためには、常勤職員の看護師さんが必要ではないか。

以上のほか、

- ①地産地消エネルギーの拡大
- ②統一協会被害者支援の広報強化
- ③畜産農家への補助の拡大
- ④保育所での負担軽減
- ⑤子ども医療費完全無料化
- ⑥町内循環バスの検討
- ⑦コロナ禍での休業支援などサポート体制の強化
- ⑧公共施設への生理用品配置などについても質問を行いました。紙面の関係で省略します。



永安文男

多世代包括支援センターの業務成果は

子育て世代・高齢者・障がいのある方々に連携した対応

総合計画に位置付ける施策の推進、効率的・機能的な組織編成による事業推進を目指した機構改革の成果達成について質問した。

■質問
機構改革後の組織体制の業務とその成果は

■町長

多世代包括支援センターの新設により複合的な課題の早期解決につながっています。まだ半年の経過で目的を全て達成していませんが、「年を重ねても安心して住み続けられるまちづくり」に取り組んでまいります。

■質問

「共生社会」の実現に向けてはどうか。

■町長

地域共生の考えをもって来年度策定予定の保健福祉総合計画の地域共生推進会議において、共生に向けた課題解決の取り組みを進めます。

■質問

障がいのある方が地域で自立した生活を送ることが出来る支援の考え方は。

■町長

今年度から障がい福祉事業所と定期的な会合などの多世代交流事業を行っており、高齢者支援と同じように障がいのある方も安心して暮らしていけるよう、連携しながら支援体制を進めていかなければならないと考えています。

■質問
本町の医療的ケア児の支援はどうか。

■町長

ご家族の方は、生活する中で多くのご心配とご負担があるものと思います。保護者の皆さん方に寄り添いながら関係機関と情報を共有し、切れ目のない支援を目指さなければならぬと考えています。

■質問

保育所の対応では、医療的ケア児の関係が民営化のウエイトを占めているように伺っているが、行政の責任として町が果たすべきやり方を考えることが重要と思うがどうか。

■町長

3つの保育所について平等に行政支援が行えるようにしなくてはならないと思っております。

地域猫の実態把握と今後の対応は

関係条例の制定とか助成制度を必要により検討

野良猫の糞尿による生活環境被害や動物愛護の観点から、本町の今後の対応について質問した。

■質問
野良猫による苦情や地域猫活動の状況把握と保護猫の不妊去勢手術費用の助成を考えると出来ないか。

■町長

地域猫の活動が全国的に広がりがつつあり、本町でも数か所で餌やりや自費で不妊手術をされているようです。その都度県の助成制度の紹介や地域猫活動の案内を行っています。今後関係条例の制定や助成制度についても、必要に応じて検討していかねければと考えています。

県道の押しボタン式信号機設置の進捗は

県と公安委員会が設置に向けて検討

■質問

県道佐世保鹿町線の小浦駅前横断歩道の信号機設置の進捗は。

■町長

令和4年5月31日に公安委員会に要望書を提出しており、現在道路管理者である県と協議検討中という事です。早期の対応に向けて引き続き要望を行ってまいります。

■質問
通学路の交差点改良及び歩道整備の進捗状況は

■建設課長

県道佐世保鹿町線と町道側の交差点は、用地の確保が完了しましたので、今後県に補助要望を行ってまいります。町道神田線の方は、測量を行った後に用地買収の相談を行う予定です。

■質問

腐食やサビがひどいガードパイプの安全点検はどうしているか。

■町長

佐世保市の事故の情報を受け、直ちに全路線について緊急点検を実施しながら補強対応を行っています。早急に改善が必要なところは順次対応してまいります。指摘のとおり、日頃からの点検をやっていかなければならないと考えております。



町内のガードパイプ事例



橋本 義雄

■ 質問

佐々町は、32の町内会があり、それぞれ課題があり、要望、相談がなされていると思います。年間どのくらいか、望、相談が町内会から出されているのか、それをどう解決されているのか。

■ 町長

令和元年から令和3年度の要望、相談等についての件数は、建設課の方で303件、内対応済が274件、未対応が29件となっております。その理由として費用、用地取得の協議があります。

■ 質問

最近、「役場に言つとるばつてん、いっちょよんさつさんとか、頼んどるばつてんなかなかでけん」という声を聞くが報告がなされていないのではないか。



2年間放置されている危険箇所のガードレール設置

■ 町長

要望された方々によく状況説明をやらなければならぬと思っております。

■ 質問

以前質問いたしました真竹谷に自然を生かした桜と紅葉が一度に見られる観光スポットを作り、古川岳の遊歩道につなげたらという質問に、町長は、今後検討していきたい、自然環境を生かすことは大事なことでともいわれました。検討されたのか。

■ 町長

真竹谷に自然を生かした桜と紅葉が一度に見られる観光スポットを現状ではまだ検討していない。申し訳ない。観光スポットとして重要と思っております。十分町として検討しなければならぬと思っております。



真竹谷に紅葉と桜が一度に見ることができる、観光スポット

■ 意見

春のシロウオから始まって河津桜、枝垂れ桜、花苜蓿、夏にはハマボウ秋から冬に紅葉と桜、四季の花がそろいます。これを観光に生かして下さい。

佐々川から農業用水を引き込む井堰について

■ 質問

佐々川の6カ所の井堰について町長は、今後10年、20年先の農業を考えた場合、適切な管理や計画的な補修、更新ができるかも合わせて十分検討しなければならぬ。県関係、農家と協議する必要がありと回答されましたが、その後どう検討されたのか。計画は、関係者の皆さんとは早く協議された方がよいのでは



井堰関係者との早めの協議を

■ 町長

国、県に働きかけながら、水利関係者と協議を進め計画を考えております。

桜について

■ 質問

台風が来るたびに桜の木が倒れ、伐採がなされ、数少なくなっているところがあります。補植はしないのか、桜の会の方から苗木の配布はないのか、お尋ねします。これからも台風などで倒れたり、枯れたりした時、補植はされないのか。それが、桜堤の河津桜、真竹の枝垂れ桜の場所であつても。

■ 企画商工課長

河津桜、枝垂れ桜、桜については、補植はするが、ほかの場所については厳しいのではないかと思います。桜の会の苗木は、要望すれば配布されます。



数少なくなったMR沿線の桜



川 副 剛

給食センター事業について 自校式は再考しないか

自校式調理方式では調理場の安全基準を満たすのは難しい

給食センター事業費が高騰している。センター方式の方が、自校式よりもメリットがあるという合理的理由・見解を求め質した。

■ 質問

自校式ではアレルギー対応専用室はできないか。3校それぞれ空きスペースはないか。

■ 教育長

自校方式ではアレルギー対応調理室を設置できるスペースはございません。

■ 質問

センター方式と自校式の建設事業費の比較は。

■ 教育長

センター方式の方が自校式より建設事業費は安く、国からの交付金があります。センター方式の方が、経済的メリットは非常に大きいと考えております。

■ 意見

子どもへの身体的な影響という点では、金銭でははかれない重要な役割が学校給食にはある。本町のみならず、他自治体でも建設費高騰の逆風が吹いているが、アレルギーを抱えている児童が安全に給食を食べられるためにも、事業を一步でも前進していくべきだ。

■ 質問

給食調理は重労働である。重いものを持つため、腰痛、腱鞘炎、夏場での調理場は40度以上、湿度は90%のサウナ状態。劣悪な環境で働いている調理員さんは、十分特殊勤務に該当すると思うが、対象にはできないか。

■ 総務課長

調理員の業務の特殊性については、俸給に含むものであり、対象とするのはなかなか難しいと考えております。

■ 意見

特殊勤務手当は、各自治体の実情、実態に沿って規定されているため、調理員を特殊勤務に該当している自治体もある。処遇の悪さは人手不足を招く。給食ができないという状況を招かないためにも、検討していくべきだ。



■ 質問

小麦などの穀物の値段が高騰している。米は本町の地場のものであり、値段も比較的安定している。週2日のパン食を少し減らし米食に変えて、その浮いた食材費をおかず代にあて、質や量を落とさないようにできないか。

■ 教育長

国の物価高騰対策による輸入小麦の価格の据え置き等があり、本年度中は上がっておりません。今後、価格の変動や栄養教諭を中心とする現場の考え、子どもの声を聞きながら、検討を進めていきたいと思っております。

■ 意見

米食を増やすもう一つの理由に、数字上のカロリーでは問題はないが、パンは実際お腹にたまらない、腹もちがよくないという子どもの声も耳にしている。他自治体では、成長期の活発に動く子どもたちには給食では足らずに、家からの白米持参を許可している学校もある。成長期の子どもの栄養バランスも考えて検討していただきたい。

交通事故多発地点を把握し対策はしているか

■ 町長

県や公安委員会への調整を行った上で、必要に応じて要望を行ってまいります。

■ 質問

本町の交通事故多発地点は。

■ 町長

○ 佐々大橋の交差点から江迎へ向かう県道の志方江迎線
○ 新佐々橋付近の国道の204と県道の佐々鹿町江迎線の接道部分
○ 佐々駅から国道へ向かう町道の駅前線と佐々ショッピングセンターの横から図書館前の都市計画街路の2号線の交差点です。

■ 意見

私自身、佐々ショッピングセンターの交差点での事故は2回ほど目のあたりにした。車の動きが常に流動的で危険な箇所である。警察と公安委員会の管理だとは理解しているが、信号機設置の検討も含め、今後も連携し対策を講じていただきたい。

市町村議会議員研修の参加報告

(横田博茂・川副 剛)

令和4年度

町村議会議員特別セミナー

研修日 令和4年10月25日～10月26日
開催地 全国市町村国際文化研修所

(滋賀県)

研修の概要

- ① 開講式
 - ② 講義「まちづくりは人づくり」
壬生 照玄氏
長野県高森町 町長
 - ③ 講義「体験的な学びを通じた地域づくり」
高野 孝子氏 特定非営利活動法人 ECOLUS 代表理事
 - ④ 講義「地域の発展にスポーツや大
学ができること」
石井 智氏 びわこ成蹊スポーツ大
学副学長
 - ⑤ 講義「文化から学ぶ地域」
本郷 和人氏 東京大学史料編纂所
教授
 - ⑥ 閉講式
- 行政がすること、町民がすることを明確
にしていき、そのために「頑張れる」人財
を育てていくこと、各自自治体での地域づく
りの重要性やスポーツの可能性などの講義

研修所感

でした。議員となり今回初めてセミナーに
参加しましたが、講師の方々の様々な興味
深い内容の講義を受け、改めて「まちづく
り」の好機でもある企業とひとの動きには、
さらに注目をしていきたいと思いました。
今後も機会を得れば積極的に参加し、個人
の資質向上を図りながら町民のみなさんを
笑顔にする貢献ができればと考えています。

(横田 博茂)

「議会改革度調査から見る 地方議会」を学ぶ

研修日 令和4年11月1日～11月2日
開催地 全国市町村国際文化研修所

(滋賀県大津市)

研修会の概要

- ① 開講式
- ② 講義「議会改革度調査」から見る地方
議会
中村 健氏 早稲田大学マニユフェ
スト研究所事務局長
- ③ 講義「住民参加・情報公開を進める
取り組み①」
柏木 岳氏 徳島県那賀町議会議員
・議会改革特別委員会委員長
- ④ 講義「住民参加・情報公開を進める取
り組み②」
中村 健氏 早稲田大学マニユフェ
スト研究所事務局長

研修所感

地方議会のあり方について「地方分権」
になり、議会の役割も変化している。多く
の地方議会が議会改革へ着手している。こ
れまでの議会のICT化は、既存の議会運
営をデジタル化したものが大半であり、D
X時代の先のある未来を創造し、既存のあ
り方を見直すことが重要となるとの講義を
受けた。

今回の研修会を通して、コロナ禍を契機
に社会が大きく変わり、ますますデジタル
化が進む中で、柔軟性の高い議会のあり方
が必要であることを感じた。

本町議会でも研修で学んだことを生かし、
町民の民意を反映できるように、一歩でも
前進していくべきだと再認識した。

(川副 剛)

岩崎 弘宜氏 茨城県取手市議会事務
局次長

中村 健氏 早稲田大学マニユフェ
スト研究所事務局長

⑤ 講義「DX時代における地方議会の
展望」

北川 正恭氏 早稲田大学名誉教授

⑥ 講義「各議会における今後の議会
改革推進の検討」

中村 健氏 早稲田大学マニユフェ
スト研究所事務局長

⑦ 閉会行事

国・地元国会議員へ要望活動

◆期 日

令和4年11月29日

◆出席者

○町長、副町長、関係課長他、執行部職員

○議長・副議長

議会運営委員長 1名
常任委員長 2名

西九州自動車道の整備促進について

要望事項

① 防災・減災・国土強靱

化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進するとともに、5か年加速化対策後も、予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと。

② 激甚化・頻発化する大規模自然災害の脅威・危機に即応する為の地方整備局の体制の充実・強化や災害対応に必要なとなる資機材の更なる確保に取り組むこと。

③ 資材価額が高騰する中でも必要な道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、国・地方を合わせた令和5年度道路関係予算総額の満額確保を図ること。

国土交通省道路局長ほか、幹部の方々に対し、北村誠吾衆議院議員と共に、要望活動を行いました。

また、衆議員会館を訪

問し、地元国会議員へ、同趣旨の要望活動を行いました。

「インターンシップを通して」

佐世保商業高校 1年
城 優奈

私は、12月7日から9日までの3日間、佐々町役場の議会事務局の方でインターンシップを体験させていただきました。

仕事内容は、議会に使う書類の確認、印刷などや議場の確認、会議録の作成、議長さん・副議長さんへお茶を出させていただくなどがありました。また、臨時会を傍聴したり議員さんと写真を撮ったり、様々な部署を回ったり、議員さんのご自宅に訪問したりと貴重な体験をさせていただきました。その中でも、私は議長さん・副議長さんへお茶を出す時が一番緊張しましたが、優しく接していただきとても嬉しかったです。

毎日の作業をする中で学んだことがたくさんありました。印鑑の押し方、印刷の仕方、お茶の出し方など将来に役立つことが身についたと思います。また、議会事務局の方々



が丁寧に指導していただいたおかげで楽しい3日間を過ごすことができました。

この3日間のインターンシップを通じてたくさんのお話を学ぶことができました。たくさんのお話を学ぶことができたのは、議員さんや佐々町役場の方が支えていただいたからだと思います。議会事務局の方々には本当にお世話になりました。本当にありがとうございました。3日間学んだことを将来にいかせるように努力していきたいと思いました。

清峰高校 1年

林 ほか

私は12月6日から9日の間、佐々町役場議会事務局でインターンシップをさせていただきました。

はじめはコピー機の使い方やお茶のいれ方、だし方など分からないことばかりでしたが、議会事務局の方々にはひとつひとつのことを丁寧に教えていただき、様々のことができました。また、臨時会の傍聴をしたり議会録の確認をしたりするなかで、議会の流れや議会にいたるまでにどんなことをするのかをより詳しく知ることができました。

このインターンシップでは実習しなければ得られないことをたくさん得ることができ、様々な部分で成長できたと思います。

4日間インターンシップ実習生として受け入れていただき、様々なことを教えてくださった議会事務局の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。ここで学んだことを今後もいかしていきたいと思っています。

町民の皆様からよせられた

「声」ご意見!!

※原文のママ掲載しています。



佐々町議会だよりはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

带状疱疹予防ワクチン

の一部補助希望

本田原免 徳田 博昭

带状疱疹はがん等免疫低下状態や加齢と共に発症し、発疹部位に带状疱疹後神経痛を残すこともあります。「シングリックス」は五十歳以上の成人の带状疱疹予防ワクチンとして二〇一八年に厚生労働省より認可されました。報道もされ一部の自治体では補助金制度が創設されています。当町でも希望者は少なくなく、補助検討御願います。

佐々クリーンセンター

について

本田原免 諸岡 健吾

クリーンセンターに自家用車で持込む際、計量する所とゴミ捨て後の計量箇所が同じなので混雑します。ゴミ捨て前の計量箇所とゴミ捨て後の計量箇所を別々とし、料金支払いも自動精算機を設置してはどうでしょうか？

議会日誌

〔11月〕

7日 議会広報委員会

10日 タブレット端末導入調査特別委員会先進地視察研修(波佐見町議会)

11日 議会広報委員会

長崎県後期高齢者医療広域連合議会意見交換会

14日 産業建設文教委員会

15日 タブレット端末導入調査特別委員会先進地視察研修(佐世保市議会)

17日 西九州自動車道建設促進大会(東京大会)

18日 議会広報委員会

21日 産業建設文教委員会

22日 議会広報委員会

24、25日 4市1町西九州自動車道建設促進協議会中央要望(衆議院、参議院議員会館、自民党本部、財務省、国土交通省)

25日 総務厚生委員会

28日 議会運営委員会

29日 地元選出国会議員への要望活動(東京)

〔12月〕

5日

タブレット端末導入調査特別委員会

6日

議会運営委員会

議会広報委員会

7日

第3回臨時会

13日 12月定例会(1日目)

14日 12月定例会(2日目)

15日 12月定例会(3日目)

議会運営委員会

23日 全員協議会

編集後記

令和5年を迎え、新型コロナウイルス収束、およびロシアによるウクライナ侵攻戦争が早期に集結し、社会全体が穏やかで心豊かな年になることを願っています。

本年は、本格的に役場新庁舎の建設が始まります。防災拠点として町民の利便性向上に役立つものと期待されています。

また、円安の影響で物価高騰しており、住民生活にも影響が出ていますので、今後対策が必要となつております。

今後も町民の声を反映できる議会となるよう、より一層尽力してまいります。

川副 剛



印刷／有限会社タイセイ印刷